

編集後記

普段は野田キャンパスにいますが、先日、所用で葛飾キャンパスに行く機会がありました。早めに着いたのでキャンパス内を歩いていると、図書館の前にある考える人の像が目につきました。近年は情報が溢れ、簡単な調べものやコミュニケーションは手元の「スマホ」で事足りてしまいます。インターネットやスマートフォンの普及により、情報を享受することが容易になる一方で、日常から考える機会が失われつつあるように思います。大学に置かれた考える人の像を見て「考える」ことについて考えさせられた次第です。

今回の特集は宇宙を探る理学研究です。子供の頃に星座を学んだ際には、『どう見てもヤギには見えない…』などと思ったものですが、古代の人々は長い夜に星が輝く夜空を見て、様々な空想に耽っていたのでしょう。一方、現代の街には光と電波が満ち溢れ、満天の星空を見る機会も失われていますが、人類の宇宙に対する好奇心は尽きることがありません。ロケットを飛ばしたり、地下に巨大な空洞を掘ったり、紙に数式を書き並べたりと、あらゆる方法を駆使してその謎に迫ろうとしています。アインシュタインの言葉で“the eternal mystery of the world is its comprehensibility” (1936年のPhysics and Realityより) というものがあります。これは、「この世(宇宙)で最も理解し難いことは、それが理解可能であるということ」と訳せます。実際、広大な宇宙と比べると、人類の歴史や活動範囲は微々たるものですが、人類が地球上に居ながらにして積み上げた宇宙に関する知識の範囲は驚くべきものです。特集では、現在の宇宙像と宇宙を探る最新の研究を紹介しています。理科大で非常勤講師をされている長谷川先生、松村先生には、初期宇宙から138億年の時を経て現在の地球に届く微弱な光である「宇宙マイクロ波背景放射」の研究を解説していただきました。宇宙マイクロ波背景放射は宇宙がビッグバンで始まったことを示す証拠であり、宇宙のはじまりを理解するための情報を含んでいると考えられています。一件のみの紹介となりましたが、その他の記事については冒頭の解説をご参照ください。

最後になりましたが、ご多忙な中で記事を執筆していただいた先生方、編集委員長である渡辺一之先生を始めとする編集委員の皆様、編集室担当の亀山亜土様、坂口奈織美様に、この場を借りて心より感謝申し上げます。

〔石塚 正基：創域理工学部〕

次号予告

特集：ELSI研究の現在

- ELSIの基本理解
- ELSIのはじまりから今の日本における位置づけまで
- ELSI研究に関わるということについて
- 発展する科学技術と憲法学
- ELSIの「E」の不安定さ、困難さ、重要さ
—倫理学から再び「E」を問う—

編集委員会 編集委員

渡辺 一之	名誉教授
田所 誠	理学部第一部 化学科
村上 秀俊	理学部第一部 応用数学科
佐々木健夫	理学部第二部 化学科
藤沢 匡哉	工学部 情報工学科
後藤田 浩	工学部 機械工学科
原田 陽介	薬学部 生命創薬科学科
石塚 正基	創域理工学部 先端物理学科
垣野 義典	創域理工学部 建築学科
増田 信之	先進工学部 電子システム工学科
井出野 尚	経営学部 経営学科
神野 潔	教養教育研究院 神楽坂キャンパス教養部



野田キャンパスに鎮座する合格神社

SCIENCE 通巻 438 号
FORUM 科学フォーラム (創刊 1984 年 7 月)

2023 年 12 月発行 / 第 40 巻 6 号

発行人 浜本 隆之 (学校法人 東京理科大学理事長)

編集人 渡辺 一之 (編集委員会 委員長)

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

TEL : 03-3260-4271 (代)

<https://www.tus.ac.jp/about/information/publication/forum>



お問い合わせは、本学広報課をお願いします。

TEL : 03-5228-8107, FAX : 03-3260-5823

理大 科学フォーラム編集室 (担当: 亀山 亜土, 坂口 奈織美)

e-mail : henshu@admin.tus.ac.jp

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

印刷・製本 精興社

禁無断転載